



## RACE REPORT

全日本ロードレース第6戦 オートポリス  
淡々としたレース展開を打破できず、無念の6位

■コース全長:4,674m ■総客数:19,150人

### 9/3(土) 予選 好天のもと、「九州モーターサイクルフェスタ」が開幕！



天候は優れ、稀に強い風が吹くも、雨の心配はない。観客の入場と実況で、オートポリスもレースムードが一層高まり、野左根選手の表情も昨日から更に気合が入っている。走行中も、ピットイン時には昨日と同じくフロントサスペンションの調整の他、タイヤも交換しながら更にベストな状態を突き詰めていく。計19週を走り、少しずつタイムを上げる中、10週目にベストタイム1分55秒757をマーク。結果、決勝レースでは7番グリッドからのスタートとなったが、トップ3までのベストタイム差は1秒を切るタイムを出すことが出来た。

Pos.	No.	Machine	Rider	Team	Time
1	634	CBR600RR	中上 貴晶	MuSASHIRTハルク・プロ	R 1'53.311
7	31	YZF-R6	野左根 航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	R 1'55.757

### 9/5(日) 決勝 ミスなくラップを重ねるものの、力およばず6位でフィニッシュ。

レースウィーク中で最も恵まれた天候で迎えた決勝レース当日。午前中のウォーミングアップランでのベストタイムは、1分56秒391。9週のウォーミングアップと調整を終えて、ついに決勝レースが始まった。高まる緊張の中、7番手アウト側からのスタート。スタート後も7番手を保ちながら、周回を重ねていく。16周中13週を終えた時点でも7番手を走行。野左根選手の前後も少し間が空いており、接近戦ではなくワニミス操作が順位を揺るがす状況となった。残り2周のところで、6番手を走る宇井選手が大幅にタイムを落とし野左根選手が前へ。最後の最後で順位を上げ、6位でゴール！決勝レースのベストタイムは1分56秒463となり、予選のベストタイムは更新出来なかったが、野左根選手の悔しそうな姿からは闘志が溢れていた。



## RESULT

### 決勝レース公式結果

Pos.	No.	Rider	Team	Laps
1	634	中上 貴晶	MuSASHIRTハルク・プロ	16
2	15	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	16
3	2	山口 展也	TOHO Racing	16
4	51	高橋 英倫	松戸フラッシュ&PLUS ONE	16
5	77	稲垣 誠	伊藤レーシングGMD・アケノS	16
6	31	野左根航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	16

### ポイントランキング

Pos.	No.	Rider	Pts.	TRM	TRM	SUGO	AP	OIC	SC
1	634	中上 貴晶	100	25	25	25	25		
2	15	関口 太郎	88	22	22	22	22		
3	3	生形 秀之	67	18	18	18	13		
4	77	稲垣 誠	60	16	16	12	16		
5	51	高橋 英倫	59	15	13	13	18		
6	31	野左根 航汰	59	14	15	15	15		

### ライダーからのメッセージ



予選では満足のいくタイムではないものの、ある程度のタイムは出せました。しかし、決勝ではそのタイムを出せなくて、ペースも上げることが出来ずに、今回はちょっと残念な結果に終わってしまいました。すごい悔しいですし、岡山ではこの悔しさをバネにしてみっと良い結果を残せるようにしたいです。今まで満足いく戦績を残せておらず、自分自身でも納得できていないので、岡山では、チーム、応援してくれる皆さん、そして自分自身も満足できるよう頑張ります。

(Webike TeamNorick YAMAHA 野左根 航汰)

### 阿部監督より「レースを終えて」

金曜日のフリー走行は、先週の事前テストの状態から始めて、Tカーも使った各種のセッティング違いをテストしましたが、なかなか先週のベストタイムを出す事が出来ませんでした。しかし航汰の課題であったアウトラップ(走りだし)からのタイムアップはかなり向上しました。明けて土曜日の予選は、昨日のテスト結果を踏まえ1号車に集中し、微調整を加えた結果、目標の1分55秒フラットには遠く及ばなかったものの、先週のベストタイムを約0.5ほど縮める1分55秒757を出し、予選7位でした。日曜日の朝フリーはタイムこそ1分56秒台でしたが、前半は3番目あたりで、最後まで稲垣選手に越されましたが、5番目のタイムでレースに期待しました。レースは、スタートから1周目をほぼグリッド順で通過して行き、航汰の追い上げに期待しましたが、思ったようにタイムを上げて行けず、淡々と周回を重ねる状態が続き、最後に宇井選手のミスにより、航汰は6位ゴールとなりました。ベストラップも55秒台に入れる事が出来ず、本人にとってもスタッフにとっても非常に落胆したレースでした。次回の岡山国際でのレースに向け、航汰のメンタル面の改善と、マシンにニューパーツを投入し9月20日、21日の事前テストから大幅な戦闘力の向上にスタッフ一同全力を注ぎます。引き続き、応援を宜しくお願いします。



### サーキット概要

2本の長いストレートと大小13のコーナーからなるテクニカルコースで、各コーナーには往年の名ドライバーの名前がついている。迫力ある見どころとしては、スタート直後の1コーナー、ヘアピンからリポルバーコーナーの下り、Wヘアピン(レッドマン・ホップスコーナー)。

J-GP2クラスは、岡山国際サーキット初登場となる。また、サポートレースとして海外メーカー限定カテゴリーのレース「King of EURO FIGHTER」が行われる。

[→詳しくはこちら](#)

コース長	3,703m
コース幅	12から15m
直線長	約600m (メインストレート) 約700m (バックストレッチ)
高低差	29m
開催クラス	JSB1000/ST600 J-GP2/J-GP2 GP-MONO
併催レース	King of EURO FIGHTER



## TOPICS

ピットの奥には休憩スペースがあり、色々なお菓子が沢山置いてあるのですが、よく見ると種類だけ、やけに量の多いものがありました。ハッピーターンです。ハッピーターンが、特別に多く置いてあるのです。

気になったので阿部監督に尋ねてみたところ、「ハッピーターンの由来は、幸せ(ハッピー)が訪れる(ターン)ように」という縁起を担いでいるそうです。「カツ丼を食べて勝つ！」と同じ考え方ですが、レース直前にカツ丼を差し出されてもライダーは食べづらそうだし、ハッピーターンなら気軽に手を伸ばせませすよね。

次のレースは岡山です。野左根選手には、いっぱいハッピーターンを食べてもらって、表彰台行きの最終コーナーをハッピーにターンしてもらいたいですね！



## ≫公式サイト情報

● Webike TeamNorick  
YAMAHA  
<http://norick.webike.net/>

● 野左根 航汰選手 プロ  
フィール  
<http://norick.webike.net/nozane-kohta/>

● 参戦マシン紹介  
<http://norick.webike.net/machine/>

● 2011年レーススケジュール  
<http://norick.webike.net/race-schedule/>